

平成24年度事業報告

○ 概 況

平成24年度は、暮れに政権交代等があり、大きく政策が転換し、日本再生に向けた緊急経済対策が閣議決定され、本格的な景気回復に向けた取組がなされ早期デフレ脱却に動き出した。

東日本大震災から2年が過ぎいまだに被災地の復旧復興が進んでいないのが実情であり、被災者の生活も仮設住宅で今なお不自由を余儀なくされている。

このような状況の中で、当シルバー人材センターは本年2月に創立10周年を迎え組織を挙げて節目の年を認識し、新たな気持ちで再出発したところである。これからも公益目的事業を柱として、地域から信頼されるシルバー人材センターとして、地域に密着した事業の開発、提供にも積極的に関わって行く必要があり、それぞれの役割と特性に応じた事業展開をはかった。

就業拡大のため、請負、派遣事業の拡大をはかりつつ福祉等生活支援サービス事業の拡大に向け取組んだ。また、独自事業として書道、着付け等、新たな分野にも事業展開を行い地域に密着したシルバーとしての特性を生かし、子供達の登下校の安全安心に取組むボランティア等にも積極的に取組んだ。

公益法人に移行して2年目、収支相償を基本に事業運営を強化し法令遵守の徹底と安全適正就業を引き続き推進すると共に、就業にあたってのマナーの向上と仕事の質向上に取組んだ。

また、シルバー事業の基本理念である「自主・自立、共働・共助」を堅持しながら高齢者の就業機会を提供し、地域社会に貢献できるよう事業推進に努めたところである。

1. 就業開拓提供事業

より広くの会員に就業の機会を提供するために、高齢者の知識、技能、経験を把握分析し、法令遵守を念頭におきながら、地域のニーズに対応する仕事の受注を目指すため、以下のことを実施した。

ア. チラシの配布

2. 普及啓発事業

地域社会にシルバー事業への理解と高齢者の加入促進を図るため、以下のことを実施した。

ア. 普及啓発月間における活動

第6回「十三夜・魂のふるさとまつり」におけるPR

イ. チラシ配布

- ウ. 会報の発行
- エ. ホームページによる情報公開
- オ. シルバーフェアによるPR
- カ. 町広報誌に会員募集を掲載（数回）
- キ. 第2回「とみやっこたなばたかざり」への参加

3. 調査研究

会員の就業率の向上、発注者に対するサービス内容の改善・充実、さらには新たな就業等の活動機会の開拓の方策を研究実施するために行っており、以下のことを実施した。

- ア. お客様満足度調査(発注者に対するアンケート調査)

4. 相談事業

一般高齢者及び会員を対象に、以下のことを実施し、就業等に関する情報を提供した。

- ア. 入会説明会 毎月1回
- イ. 就業相談 随時
- ウ. 育児相談 随時
- エ. 会員対象に面談を実施

5. 安全・適正就業の推進

品質の向上と確保を図り、事故ゼロ・クレームゼロを目指し、顧客の信頼向上に努める。毎月1日と15日を「安全の日」と定め安全意識の高揚を図り、また各就業現場において危険予知活動を行い、事故を未然に防ぐよう努めた。

- ア. 安全・適正就業委員会の実施
- イ. 安全パトロールの実施
- ウ. 安全・適正就業推進大会の実施
- エ. 安全標語の募集及び表彰
- オ. 安全便りの発行
- カ. 適正就業の推進(派遣事業の拡大強化)

6. 会員増強の促進

第2次中期行動実施計画の目標値をもとに、会員の加入促進を図った。

- ア. 入会説明会の実施(毎月1回)
- イ. 町広報誌への会員募集の記載

ウ. 女性部会「ハナミズキ」を上げた

7. ワークプラザ施設整備の具体的推進

拠点施設が地域の活性化策に貢献できる施設となるよう具体的に推進した。

ア. 施設整備調査検討委員会で調査・検討

イ. 関係団体との意見交換会

ウ. ワークプラザ視察研修（多賀城市シルバー人材センター）

8. 創立 10 周年記念事業の実施

創立 10 周年の区切りと新たなスタートをきるため、平成 25 年 3 月 27 日に記念事業を実施した。

当日参加者 270 名、準備片付け等延 228 名、富谷町職員の方の多大なるご協力をいただき、盛会に終了することが出来た。

9. 福祉・家事援助サービスの推進

町が推進する子育て事業や、高齢者世帯の増加が進む中、地域住民の福祉ニーズに応えられるよう、福祉家事援助サービスに対応できる会員の加入促進と、現会員スキルアップのための研修会に参加した。

ア. 育児支援サービス

(ア)子育てサロン「ほっと育(す)く」の継続運営

(イ)一時預かり

(ウ)子育てスキルアップ講習会の実施（講師招聘、外部講習会）

イ. 家事援助サービス

(ア)高齢者への家事援助(クイックサービスの拡大)

10. 社会参加活動の推進

「自主・自立、共働・共助」の精神を高めるためにも、ボランティアや社会参加を通して、地域社会への貢献と連携を深めた。

ア. 子供達の安全・安心を守る巡回活動

イ. 「十三夜・魂のふるさとまつり」へのボランティア参加

ウ. 「シルバーの日」の公民館等の清掃作業等の実施

11. 事業運営の効率化及び財政健全化の推進

事業運営にあたって、業務の効率的運営を図り、また公益目的基準に適合するよう財政の健全化に取り組んだ。

ア. 不要支出の洗い出し（リース車等の見直し）

- イ. 消費節約の励行
- ウ. 会計基準の変更による、税理士の会計指導を実施
- エ. パソコンについて、新システムの入替えを実施し、外部からのサーバーへの不法侵入の防止、データの遠隔操作でバックアップの導入、会員等からの電話で情報が画面に出るなど業務改善を図った。

平成 24 年度事業計画と事業実績、達成率は下表の通りである。

項 目	事業計画	事業実績	達 成 率
正 会 員	450 人	429 人	95.3%
特別会員	7 人	7 人	100.0%
賛助会員	5 人	8 人	160.0%
受注件数	1,400 件	1,493 件	106.6%
受注契約金額	175,000 千円	199,763 千円	114.2%
(受託事業)	(126,600 千円)	(152,677 千円)	(120.6%)
(独自事業)	(400 千円)	(453 千円)	(113.3%)
(労働者派遣事業)	(48,000 千円)	(47,086 千円)	(98.1%)
就業延人員	38,000 人日	44,619 人日	117.4%
就 業 率	90%	93.2%	103.6%
粗 入 会 率	4.10%	3.87%	94.4%